

たった1日で **触れて 学べて 相談** もできるリアル開催の体験型イベント

ルネサスと実現する 次世代ものづくりセミナー

11/1(水)-2(木)
品川開催

～産業機器の設計・開発に役立つ！最新技術動向とハンズオン～

本イベントはお客様から多くいただいた3つのご要望を「1日で」実現します！



チームメンバーへ最新情報を
まとめて**インプット**させたい



開発イメージを膨らませるために
実物のデモが見たい



クローズドな場で設計開発の
課題を**専門家**に相談したい

①3つの技術セミナー

産業機器開発に欠かせない「組み込みAI」
「パワー半導体」「BLDCモーター」についての講演

②ハンズオンセミナー

昨今特に注目されている「GreenPAK™」の
開発環境を用いたハンズオン

③16点の大規模デモ展示

AIを用いたデモやMCU、モーターのデモを展示予定

④専任エンジニアとの個別相談会

経験豊富な専任のエンジニアや営業担当者が
お客様の悩みや課題に最適な解決策を提供

イベント概要

開催日：11/1(水)-2(木) 13:00-17:00 ※両日同じ内容です

定員：各日50名

場所：株式会社マクニカ 品川オフィス(JR 品川駅から徒歩 5 分)

お申し込みはこちら

<https://www.macnica.co.jp/business/semiconductor/events/renesas/144238/>

入退場自由・ご都合の良い時間帯にお越しください

※ハンズオン・個別相談会をご希望の方は14:50までに受付をお済ませください

個別相談会
のお申込みで
プレゼント



Arduino Uno
R4 Minima

プレゼント企画もあり

当日のプログラム

時間	内容
13:00-13:05	開会の挨拶
13:05-13:35	<p>組込AIシステムにおける3つ課題とルネサスの解決策～AI MPUソリューション動向最前線～ ルネサスエレクトロニクス株式会社 野村 守 氏</p> <p>MPUの最新市場トレンドをはじめ、組込AI機器を開発するときに直面する課題、それらを解決するルネサスAIソリューションについて、特にAI MPUにフォーカスしながら解説をします。ルネサスが展開するArm®内蔵MPUファミリーには、汎用MPU（RZ/G、RZ/A）、AI対応MPU（RZ/V）、産業向けリアルタイム制御（RZ/T）、ネットワークMPU（RZ/N）など用途に応じた最適なラインナップをご用意しており、製品デモ展示エリアでも最新AIソリューションに触れて体験いただけます。</p>
13:35-14:05	<p>ルネサス SiCデバイス開発の最新動向 “パワー半導体戦略の今” ルネサスエレクトロニクス株式会社 野澤 俊哉 氏</p> <p>次世代パワー半導体材料「SiC」は、高い電力変換効率と電力密度を実現できることから省電力化が求められる幅広いアプリケーションで普及が進んでいます。パワー半導体の市場動向、注力分野、採用事例を挙げながら、ルネサスが推し進める最新世代SiCデバイスの開発動向を、IGBT/FRD等の製品ラインナップを交えてご紹介します。</p>
14:05-14:35	<p>BLDC(ブラシレスDC)モーターが丸わかり！ 実演を交えた徹底解剖 株式会社マクニカ クラピス カンパニー 佐々木 繁綱</p> <p>電力効率の高さからBLDCモーターの採用が広がっていますが、120度通電制御やベクトル制御などの制御方法があり他のモーターと比べて複雑で、初めて設計に携わる方にとって非常にハードルの高い製品開発となります。本講演では、BLDCモーター制御方法と、メリット・デメリット、モーター制御プログラム実装の課題解決についてわかりやすく解説します。また“リアルイベントならではの”製品デモ展示エリアでもBLDCモーターをご紹介しますので、その場でデモ内容をご覧いただきながら理解を深めていただけます。</p>

休憩 ※以降はご希望の会場へ移動

14:50-15:30	<p>GreenPAKに触れてみよう！ Lチカ回路設計から学べるハンズオンセミナー 株式会社マクニカ クラピス カンパニー 古川 光信</p> <p>超小型のアナログ混載カスタムミックスドシグナルIC「GreenPAK」は、部品点数の削減・集約化に貢献し、仕様に合わせた約40種類のベースダイから作り込みが可能です。 本ハンズオンでは、実際に評価ボードに触れて頂きながら、GreenPAK設計ツール「Go Configure™ Software Hub」の回路入力からシミュレーションをご自身のPCでお試しいただけます。実例を用いた演習もご用意しており、当社エンジニアがサポートさせていただきます。</p> <p>※ハンズオンにご参加の方は、ご自身のPCをご持参いただけます。 ハンズオンではルネサス社提供ソフトウェアをPCにダウンロードする必要があり、下記記載のスペックを満たすPCをご準備いただきますようお願いいたします。</p> <p>Minimum System Requirements for Go Configure Software Hub <ul style="list-style-type: none"> ・RAM: 512 MB ・Graphics RAM: 128 MB ・Free Hard Disk Space: 750 MB ・Operating System: Windows 7/8.1/10/11, macOS (v10.15 or higher), Ubuntu 18.04/20.04/22.04, Debian 11/Testing </p>	<p style="background-color: #f4a460; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;">要事前申し込み</p>
-------------	---	---

14:50-17:00	<p>製品デモ展示 お時間の許す限り製品・ソリューションデモ展示をご覧ください。 展示内容に関して不明な点はお気軽に説明員にご質問ください。</p>
-------------	---

14:50-17:00	<p>個別相談会 専用の会場をご用意しますので、当日会場スタッフへお声がけください。</p>	<p style="background-color: #f4a460; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;">要事前申し込み</p>
-------------	---	---

当日展示予定のデモ16点

- | | |
|--|------------------------|
| ① Reality AI モーター故障検出AI | ⑨ 画像認識AI(DeemDetector) |
| ② RA2L1, RL78G23 タッチレスボタン電極ボード | ⑩ 学習済みAIアプリ |
| ③ RX23E-A デジタルロードセル ~MCUとAFEをワンチップ化で基板の小型化に貢献~ | ⑪ 音声認識 |
| ④ RL78/G22 家電UI | ⑫ バランスロボ |
| ⑤ Arm® Cortex®-M85人物検知 | ⑬ サーモスタット |
| ⑥ RISC-VプロセッサによるIoTゲートウェイ | ⑭ 無線Lチカ |
| ⑦ RZT2M Motor制御(DC24V)&EtherCAT®通信&機能安全 | ⑮ おむつ臭い検知 |
| ⑧ PLC(電力線通信)音声通信ソリューション | ⑯ USB-PD |

お客様に好評のAI関連デモ

① Reality AI モーター故障検出AI

MCU上で、高度な信号処理技術とエッジAIを実現

Reality AI Toolsは機械学習ライブラリを自動生成し、振動・音声・温度などタイムドメインの信号の解析を行います。また、機械学習ライブラリの軽量化と高精度を実現しています。

ターゲットアプリケーション

・タイムドメインの信号処理 例) モーター制御など



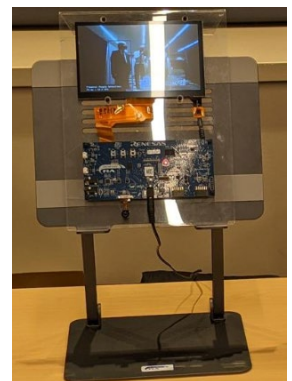
⑤ Arm® Cortex®-M85人物検知

Arm® Cortex®-M85コア + Heliumを組み合わせた次世代RAマイコンにより、AI推論時間をCortex-M7比で3.6倍に高速化します。

その高速演算性能をご覧いただくために、本人物検知AIデモではカメラ入力(640x480)、人物検知AI推論、ディスプレイ出力(800x480)までの処理を13fspのフレームレートで実現しています。

ターゲットアプリケーション

・スマート人感センサー
・セキュリティカメラ
・ビデオ付きドアホン



⑨ 画像認識AI(DeemDetector)

RZ/V2Mで日立ソリューションズテクノロジー社の画像認識AIのDeem Detectorを動作させたデモ

低消費電力かつ高速にAIが実行できるRZ/V2M搭載のDRP-AIと、軽量かつ高精度に画像認識が可能なソフトウェアであるDeem Detectorを掛け合わせることで、低消費電力、高速、高精度な画像認識が可能になります。

⑩ 学習済みAIアプリ

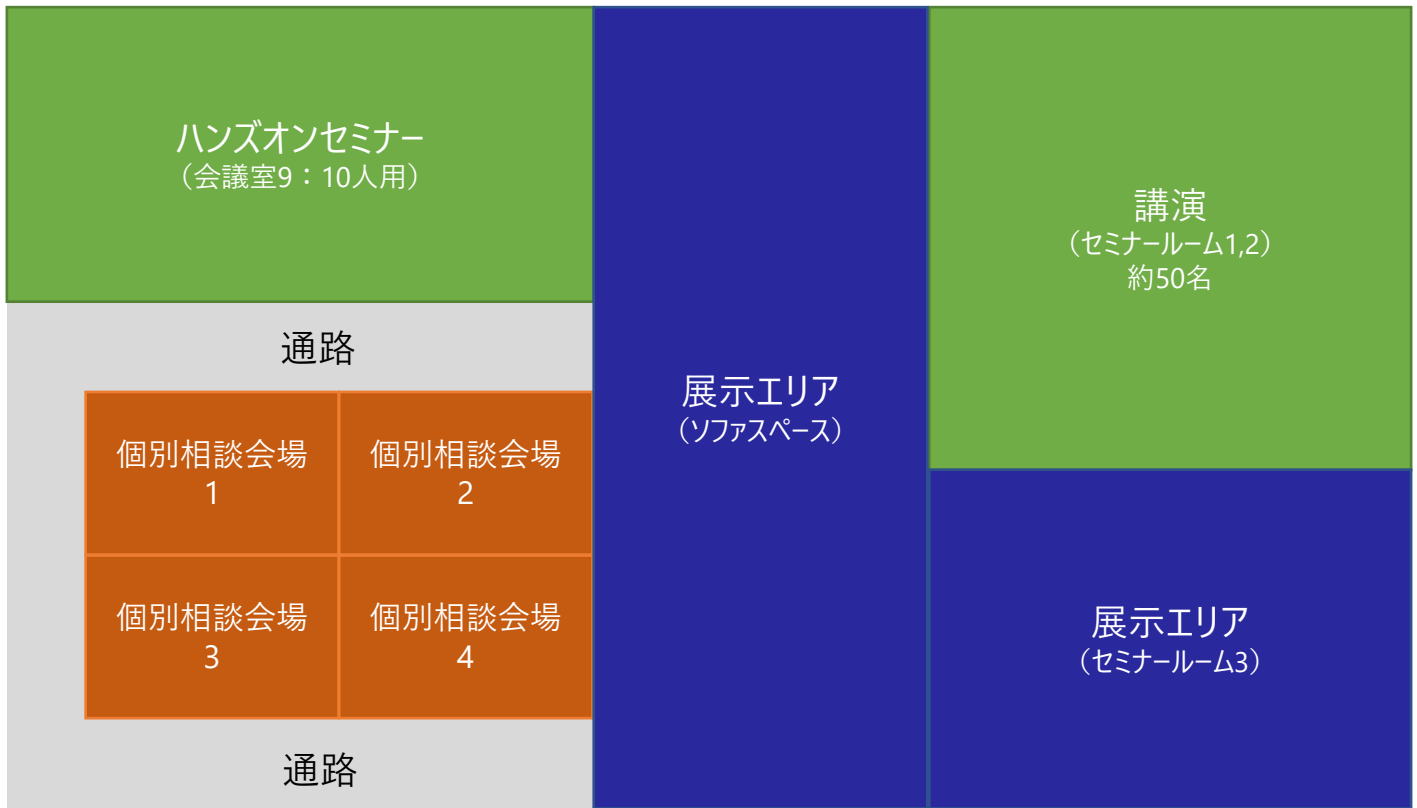
RZ/V2Mで学習済みAIライブラリを使った各種AIアプリケーションのデモ

ルネサスではAIを実現したいものの学習フェーズのハードルが高く開発に踏み込めないお客様に向けて、お客様のアプリケーションに合わせて各種学習済みAIライブラリを提供しております。

これにより学習フェーズをスキップしてAIアプリケーションを量産まで進めることができ、開発期間の短縮や開発コストの削減が可能です。

会場図

株式会社マクニカ 品川オフィス 5F



参加を考えているけど、こんな場合はどうしたら良いかと思ったら...？

ご質問例1：同じ部署から何人か参加させたいが人数の上限はあるのか？

→上限を設けておりませんので、何人でもご参加いただけます。ただし、5人以上を予定されている場合はお問い合わせください。当日座席の追加など対応いたします。

ご質問例2：相談会に興味はあるが、どんな相談内容でも良いのか？

→はい、お客様のお悩みや課題が抽象的な場合でも大丈夫です。一例ではありますが、過去に開催した別の相談会では以下のようなご相談がございました。

- ・製品の置き換えを検討しているが、同じ基板上で他に最適な物があれば話を聞きたい
- ・採用を検討している製品があるが、新しくリリースされる予定の製品があればそちらの情報も知りたい
- ・開発に使えるようなソリューションがあれば知りたい
- ・開発中で技術的な悩みがあって相談したい

お問い合わせはお客様の担当営業、または以下のフォームをご利用ください

お問い合わせフォームはこちら

<https://www.macnica.co.jp/business/semiconductor/support/contact/>

株式会社マクニカ
クラビスカンパニー

〒222-8561 横浜市港北区新横浜1-6-3 マクニカ第1ビル
電話：045-470-9821 FAX：045-470-9822

Co.Tomorrowing
MACNICA

記載の会社名、商品名、製品名、ブランド名は、各社の登録商標、商標、サービスマークです。
記載されている内容は予告無く変更される場合があります。